



東小だより

学校だより 5月号
令和7年4月28日
昭島市立東小学校
校長 鈴木 正樹

校外での学習体験を通して

校長 鈴木 正樹

木々の緑も日ごとに濃くなる新緑のまぶしい季節となりました。子供たちは新しい学年・学級にも慣れ、ますます活気に満ちた学校生活を送っています。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新年度が始まってから3週間、「気持ちのよい挨拶」、「授業中の真剣な表情」、「休み時間の元気な声」——4月の子供たちの姿からは、「頑張ろう」という意欲と前向きな気持ちが伝わってきました。この一年間で、どんな成長を見てくれるのか、とても楽しみです。

過ごしやすいこれから季節は、遠足や移動教室など、校外での学習の機会が増えます。自然の中での活動や、ふだんとは異なる環境での体験は、子供たちにとって心に残る学習となります。集団で行動する中で、友達との関係を深めたり、ルールやマナーを身に付けたりと、学習面に加えて生活面でも大きな成長が見られるようになります。

どの学年の校外での学習も、それぞれの学年の目的に応じた校外学習を計画しています。自然の豊かさを五感で感じる活動、社会や歴史に触れる見学、より長い時間を友達と一緒に過ごす経験など、多くの体験が子供たちの視野を広げ、学びを深めることにつながります。

こうした行事を通じて、「自ら考え、行動する力」や「友達と協力する姿勢」を育んでいけるよう、教職員一同、丁寧に指導していきます。御家庭でも、行事の前後には子供たちとの会話を通して、気付きや学びを共有していただければ幸いです。

今後とも、保護者の皆様と共に、子供たちの健やかな成長を見守り、支えていきたいと思います。引き続き、御理解と御協力を願いいたします。